



# 錦糸町わくわく通信

2019.03  
第26号

●お問合せ●  
東都よみうり新聞社  
TEL.03-6663-9010

東京スカイツリーを遠景に広がる桜空間

## 錦糸公園桜まつり

3月23(土)~4月14(日)



周辺に商業施設が多く買い出しにも便利なお花見スポット。シーズン中の週末は大きな芝生広場が埋まるほどの人気です。期間中は450個の提灯が夜の公園を照らします。

### 桜まつり

【主催】 錦糸公園桜まつり実行委員会  
【日時】 3月23(土)~4月14(日)  
【場所】 錦糸公園  
(JR・東京メトロ錦糸町駅  
北口から徒歩1分)

## 錦糸町 PARCO が3月16日(土)にグランドオープン!!

「錦糸町PARCO」が3月16日から楽天地ビルの1階から7階で営業を始めます。105店舗のうち69店舗が錦糸町初出店。1階の「すみだフードホール」には「SUMIDA COFFEE」「レストランカタヤマ 錦糸町グリル」など墨田区内の名店も登場します。



### ☆「錦糸町PARCO」ってこんな感じ☆

- 贅沢感のあるブランドからメンズ・レディースの複合店まで幅広い世代が楽しめる!
- シーンに合わせたコスメ・美容関連店舗を全フロアに配置
- カフェや飲食店が充実!(1階「リンツ ショコラ カフェ」「SUMIDA COFFEE」、2階「スターバックス コーヒー」、3階「バター」、4階「Café&Meal MUJI」、6階「ナナズグリーンティー」)
- 「錦糸町パルコ内郵便局」や「錦糸町駅前メディカルモール」など、暮らしをサポートする施設が並び
- 「タワーレコード」「島村楽器」「ABCクッキングスタジオ」「ESテニスステーション」など趣味や学びを応援する店も多数





## 【新日本フィルハーモニー交響楽団】

### ファミリーコンサート2019 宮川彬良×新日本フィルハーモニー交響楽団 オケパンIV「ねコンダクター!？」

0歳児から参加できるオーケストラの演奏にパントマイムが加わったユニークな音楽会。アキラさんに難題を出す2匹のネコが登場!?

【主催】新日本フィルハーモニー交響楽団

すみだトリフォニーホール

【日時】4月6日(土) 11時開演、15時開演

【会場】すみだトリフォニーホール

【曲目】ビゼー：カルメン前奏曲～猫ふんじやった狂騒曲  
プログラムス：ハンガリー 舞曲 第5番 ほか(予定)



【指揮・ピアノ】宮川 彬良 【ダンス・振付】宮川 安利

【ダンス】吉岡 朋子

【チケット】全席指定：¥2,000

ひざ上親子席(※)：¥2,500(大人1名+2歳以下のお子様1名) ※11:00開演のみ

墨田区在住・勤・学の方 全席種¥500引き(取り扱い  
は新日本フィル・チケットボックス電話で取り扱い)

【問い合わせ】新日本フィル・チケットボックス

☎03-5610-3815



宮川 彬良さん ©PACO

## ◎JFA 第24回全日本フットサル選手権大会

「JFA 第24回全日本フットサル選手権大会」にフウガドールすみだ(F1リーグ代表)とフウガドールすみだバッファローズ(関東第3代表)が出場します。

★1回戦 2019年3月2日(土) 14時30分

フウガドールすみだ エコパアリーナ(静岡県)

フウガドールすみだバッファローズ 兵庫県立総合体育館(兵庫県)

★2回戦 2019年3月3日(日) 13時30分

★準々決勝～決勝 2019年3月8日(金)～10日(日)

会場：東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場

チケット詳細は [http://www.jfa.jp/match/alljapan\\_futsal\\_2019/](http://www.jfa.jp/match/alljapan_futsal_2019/)



フウガドールすみだ



フウガドールすみだ バッファローズ

## 会員情報

### 錦糸町駅南口 テルミナ6階 全800講座 エリア最大級の総合カルチャーセンターへ

【企業情報】よみうりカルチャー錦糸町

【センター長】相田敏光 【センター開設】2000年

【所在地】墨田区江東橋3-14-5 テルミナ6階

17ジャンル・約800講座を展開している総合カルチャーセンターです。錦糸町駅ビル「テルミナ」6階にあり、JR/半蔵門線が利用でき、4,700人が「生涯学習」を楽しんでいます。全部で15教室。体操やダンスが踊れる3つの体育室をはじめ、本格的な料理教室や、電気釜を備えた陶芸教室があります。また通信カラオケも利用できる音楽室や、お茶・邦楽をゆっくり学べる和室なども備えた充実した施設です。ご希望の講座があれば見学や1日体験もできますので、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】☎03-5625-2131

## 錦糸町の

### 語り部たち

町の重鎮に聞く土地の記憶

第1回(後編)



河西 紀道さん(79)  
(そばの里みつまさ 店主)

※このコーナーでは昭和から平成にかけて錦糸町の変化を見てきた町の重鎮に思い出を語ってもらいます。前回に続き、「そばの里みつまさ」の河西さんのお話です。

——— 近隣の商業施設について思い出がありますか？

河西：戦後から東京楽天地とJRAが永く錦糸町の南口を支えてきた。楽天地といえば、敷地内にあった江東観世首(江東寺)を現在の江東橋3丁目に移設する時に丸太を敷いてゴロゴロと移していたことを覚えている。現在みずほ銀行錦糸町支店が入っている東京トラフィック錦糸町ビルのところは百貨店があった。「白木屋」後に「江東デパート」という名前で、1階部分は漬物や天ぷらなどを売っていて、短い期間だったけど屋上には遊園地もあった。駅前には丸井が来てから雰囲気が変わったね。なんというかスマートになっちゃって下駄はいていけなくなった感じ。私はサンダル履いて行ってたけど。

——— 錦糸町駅周辺の変遷も見えてきたことと思います。

河西：昭和47年(1972年)総武線快速が錦糸町に止まる前は、両国や亀戸の方が地名としては有名だった。学生時代に御茶ノ水まで通学していた時に地方から来た同級生から「錦糸町ってどこですか?」と言われたぐらい。総武線快速が来て路面電車が外され(昭和47年11月廃止)交通渋滞の解消になった。

錦糸町駅北口の再開発計画が進められた時は、南口の地域住民代表として江東橋三丁目町会長の山本さん(故人)や「セキネミュージック」の関根さんや「アボン」の辻さんと一緒に合会に出席した。平成9年に完成した時は、東武ホテルやトリフォニーホールが建ち「そごう」もできてそれまでの印象が大きく変わった。初めて来た人はまずそっちに向かっちゃう。うちでやっている「みつまさ寄席」に出演する二つ目と親方が駅で待ち合わせしたら、北口で待っていた親方と南口で待つ弟子がいつまでも会えない、という昔の「君の名は」みたいなことが起きていたね。

その後の節目といえば、平成15年の半蔵門線開通かな。ちょうど開通日の3月19日は奇数月の第三水曜日。「みつまさ寄席」と重なって春日部から来た紙切りで出演する芸人が「生まれて初めて一本で錦糸町に来ました」とまくらで話していた。

「錦糸町を元気にする会」もスカイツリーが出来るタイミングで立ち上がったけど、区役所の呼びかけでなく有志で発生した団体というところが珍しいかもれないね。

(2018年9月12日取材)

